

正治初度百首

詠百首和歌

前大僧正慈円

夏

我がやどの庭のしげみの蛩こそ

秋の草葉になる心ちすれ

詠百首和歌

前中納言隆房

夏

くれをまつおもひはたれもあるものを

ほたるばかりや身にあまるべき

詠百首和歌

沙弥寂蓮

夏

山がつのけぶりばかりとおくかびの

うへにもゆるはほたるなりけり

詠百首心製和歌

沙弥生蓮

夏

夏衣袂涼しくかぜふきて

ほたるみだるるゆふやみのそら

詠百首和歌

讃岐二条院女房

夏

夜もすがら草ばにつたふ螢こそ

風にこぼれぬ露とみえけれ

「国歌大観」より